

国際ロータリー第 2500 地区第 6 分區

帯広東ロータリークラブ会報



ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

2017-2018 年度
帯広東ロータリークラブ

会 長 石川 博機
幹 事 古川 直也
メディア委員長 高田 進

「継続」

第1614回例会

平成30年6月12日(火) 於 ホテル日航ノースランド

■創 立：1984年6月15日 ■認証：1984年6月18日 ■例会：毎週火曜日 12:30~13:30
■事務局：帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会場：ホテル日航ノースランド帯広



S.Mori

2017-2018 年度 国際ロータリーテーマ 【ロータリー：変化をもたらす】

2017-2018 年度国際ロータリー会長
イアン H.S. ライズリー

ガバナーテーマ 【今こそ行動を！】 国際ロータリー第 2500 地区 ガバナー 成瀬 則之

月間テーマ 【ロータリー親睦活動月間】

- ◎起 立 西田重人 副SAA
- ◎友情の握手 西田重人 副SAA
- ◎点 鐘 石川博機 会 長
- ◎開会宣言 西田重人 副SAA
- ◎国歌斉唱 西田重人 副SAA

- ◎ロータリーソング 「奉仕の理想」
- ◎ゲスト紹介 石川博機 会 長
米山記念奨学生 潘 志飛 様



- ◎ビジター紹介 板倉利男 副会長
- ◎会 食

会長挨拶 石川博機 会長



ロータリーの友 6 月号の中で 1920年日本で初めて創立した東京ロータリークラブが2020年創立100周年を迎えます。これは同時に日本ロータリーが100周年を迎えることでもあります。

東京 R C は米山梅吉と福島喜三次の出会いに始まります。

1918年米山が渡米した際、グラス R C 会員の福島に会い初めてロータリー運動に接し大いに心を動かされまし

た。当時の日本は経済も不安定で、ロータリー精神が容易に受け入れられるような状況ではありませんでした。

1920年福島が帰国、創立に向け準備作業が進められました。創立総会は10月20日会員24人で、初代会長に米山、幹事に福島を選び、翌年国際ロータリー加盟承認されました。この時が日本ロータリーの始まりです。

会務報告 古川直也 幹事

◎帯広東 R C、次年度第 2 回クラブ協議会開催のご案内

日 時 平成30年 6 月19日(火) 午後 6 時30分

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

出席義務者：役員・理事・委員長

◎帯広東 R C、年度末最終夜間例会開催のご案内

日 時 平成30年 6 月26日(火) 午後 6 時30分

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

ニコニコ献金 親睦活動委員会 及川武一 委員

- 石川会長 明日のゴルフ天気が回復しますよう。
- 板倉副会長 内科検診、結果パーフェクトでした。
- 古川幹事 本年度も本日をいれて、あと3回の例会となりました。本日の卓話は加藤肇さんです。楽しみにしていました。
- 高田会員 広島、呉 3泊4日で行ってきました。
- 曾根会員 先日ガバナー補佐として初めて会合を持ちました。第6分区の会長幹事の皆様にお集まり頂きましたが、東クラブの益子会長エレクト、池田幹事、セクレタリーの宮前さん、西田さん、加藤雄樹さんありがとうございました。
- 上野会員 雨がふりました。なぜかニコニコします。
- 宮前会員 花波と言う名前のマゴが出来ました。パンザイ!!!
- 西田会員 先週休んで遊びに行ったら風邪ひいちゃった。
- 加藤(肇)会員 本日、卓話をさせていただきます。昔話ですがよろしくお願ひ致します。
- 及川会員 しばらくぶりの出席です。山口さん、安藤さん入会おめでとうございます。よろしくお願ひ致します。
- 安藤会員 先週は誕生日に記念品を頂き有難うございました。



【会員卓話】

テーマ：【サハリン留学の思い出】

加藤 肇 会員



みなさんこんにちは。本日は卓話の機会をいただきありがとうございました。西田委員長から何か卓話をお願いできないかとのことでしたので、国際交流委員会の卓話であれば、私が学生時代にロシア、サハリン州の大学との交流・留学したお話しでよければ・・・ということで今回の題材となりました。

私の通っておりまして稚内北星学園短期大学は、現在、稚内北星学園大学となっております。

当時、学科はコンピューターのことについて主に学ぶ経営情報学科と、英文学科の2つでした。一般教養の外国語の中にドイツ語、韓国語の他にロシア語がありました。

当時、ソビエト社会主義共和国連邦。サハリンの島影は望めますが国交のない、恐いイメージの国でしたが、「最北まで来たんだからロシア語でも覚えれば何か役に立つかも」と思いロシア語を履修してみました。

ロシア語の教授が「夏にサハリンから大学生が来る、その後に私たちがサハリンに行くことになるだろう」との話があり、サハリンに行けるなら・・・とロシア語を覚えたものでした。7月にサハリンからユジノサハリンスク教育大生が稚内を訪問。お互い、繋がりのなかった国の学生でしたが、最初のぎこちなさはいつのまにか消え、すっかり打ち解けました。そして、9月にサハリンでの再会を約束して別れました。

しかし程なくして、ソ連国内でクーデターが発生、サハリン訪問が危ぶまれましたが、予定通り訪問できることで、私は仲間たちと戦後初の航空直行便でサハリンへ向かい姉妹校締結がなされ、翌年に交換留学が実施されることになりました。

訪問してわかったのは、日本語の教材がなく、日本語や日本を知ることが難しいとのことでした。そこで訪問した学生たちで、日本の教科書や絵本などを、サハリンにプレゼントしました。

翌年に交換留学が実施されることになり、私は運よく、交換留学生に選ばれました。

留学期間は半年、9月から翌年3月まで。ユジノサハリンスクは旭川の気候に近く。秋も深まり寒さも厳しかったです。

ユジノサハリンスクの通りや建物など、日本と違って斬新でした。

これは大学の寮の部屋です。机一つとベッドが二つ。窓も木枠でカーテン一枚と、寒そうな感じですが、窓下のラジエーターヒーターが結構効いていました。一緒に選ばれた二人での共同生活、日本についての情報は、もっぱらラジオでしたが、昼間は何とか聞こえるというレベルでしたが、聞こえるだけありがたかったです。

日本時代の樺太庁博物館です。当時の展示物を一部引き継ぎ、「サハリン州立郷土博物館」として現在も存在しています。日口の国境を示す標準石などが収蔵されていました。

11月初旬ですが大雪が降りました。

ユジノサハリンスクの駅前にレーニン広場があり、そこにはレーニン像が建っています。ソ連崩壊の時に倒された都市もあったそうですが、サハリンでは残っていました。

年末になるとレーニン広場にスニェグーラチカ(雪娘)とジェド=マロース(サンタ)です。ロシアではいわゆるクリスマスの時期が少し違い、新年を迎えると、ジェド=マロースとスニェグーラチカがプレゼントを持って子供のところへ来る。とされているそうです。

大晦日から新年になった時に、ここに多くの人が集まり、「スノービーム ゴードム=新年おめでとう」と言って、ウォッカを飲み踊る。私も参加しましたが、寒いんですが、ウォッカを飲んで踊ると暖かくなりとても楽しかったです。

教育大学には北大から、少数民族研究の教授も滞在していました。一緒に私費で留学した短大の女子学生がサハリン先住民族、ウィルタ・ニビヒの着ていた衣装を着ています。この衣装は教授が譲り受けたもので、現在は二風谷アイヌ博物館に収蔵されています。

留学期間を終えた私は翌年3月に、サハリンのコルサコフ港から客船で小樽港に帰国しました。

写真は、ロシアから持ち帰ったものの一つ。アコーデオン。ロシアではパヤンです。日本ではバイヤンという言い方の方が聞いたことがあるかと思います。滞在していたときに購入し、現在も動きます。

しばらく弾いてませんが、機会があればお聞かせできるかもしれません。

大人になって、また行ってみたいなと思っていますがなかなか機会がなく、留学したのももう、30年近く前のことになっています。

あのころからユジノサハリンスクがどう変わったか、この目で見に行きたいと思っています。

つたないお話し、ご清聴ありがとうございました。

◎閉会宣言

◎点 鐘

西田重人 副SAA

石川博機 会長

次回プログラム予定

理事会

6月19日(火)「一年を振り返って」

第6分区ガバナー補佐公式訪問

佐藤三幹 様

ガバナー補佐セクレタリー 木戸辰浩 様